

令和7年度「平和学習を考える教師の集い」開催事業募集要項

1 主催

公益財団法人広島平和文化センター

2 共催

広島市教育委員会

3 目的

広島修学旅行を目標に据えた平和学習は、西日本においては各学校での事前・事後学習を含め広く定着しており、大きな成果を上げている。これに対し、東日本では、広島修学旅行の実施割合が相対的に高くない現状にある。このため、試行の一つとして、広島で「平和学習を考える教師の集い」を開催し、教師間で広島修学旅行を目標に据えた包括的な平和学習の事例発表と討議を行うとともに、広島での平和学習プログラムを実際に体験し、今後の平和学習の展開に活かしていただく。

4 内容（予定）

参加希望者は、年度内に開催する次の2回のうち1回を選択する。

- ① 第1回 令和7年8月21日（木）・22日（金）1泊2日
- ② 第2回 令和7年12月25日（木）・26日（金）1泊2日

1日目	13:00～14:30	オリエンテーション、被爆体験講話の聴講、VR体験
	14:30～16:30	広島修学旅行を目標に据えた包括的な平和学習の事例発表と討議 広島の教師との懇談、教育関係者からのアドバイス休憩
2日目	8:30～ 9:30	平和記念資料館見学
	9:30～11:30	ヒロシマ・ピース・ボランティアの解説による平和記念公園慰霊碑巡り 本川小学校平和資料館見学
	11:30～12:30	被爆体験記朗読ボランティアによる朗読体験

5 対象者

東京都及び関東5県（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉）の公立中学校教師及び平和教育を担当する教育委員会指導主事等

6 募集人数

- 第1回 10名程度
- 第2回 25名程度

7 参加者の選定

平和文化センターでは、各学校・教育委員会から提出された調書等を審査し、募集人数の範囲内で参加者を選定する。

8 申込期限

- 第1回 6月13日（金）まで（定員に達し次第受付終了）
- 第2回 8月15日（金）まで

9 効果等の収集と発信

平和文化センターは、「平和学習を考える教師の集い」の効果等の収集と発信を行うため、参加者を対象としたアンケートを実施する。

10 助成

平和文化センターは、予算の範囲内において、参加者に対し、広島までの交通費及び広島での宿泊費を負担する。

令和 7 年度「平和学習を考える教師の集い」開催事業参加希望調書（教師用）

都・県 市・区立 中学校

校長名

1 学校の状況

学級数及び生徒数

R7.5.1 現在	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	合計
学 級 数				
生 徒 数				

2 貴校での平和学習の取組への考え方

--

3 「平和学習を考える教師の集い」での成果の活用の見込み

--

4 参加を希望する教師

ふりがな 氏 名			
年 齢	歳	教師経験年数	年
参 加 希 望 研 修 会	① 8 月 ② 1 2 月 (← 参加希望開催月に○を記入)		
当 該 教 師 を 推 薦 す る 理 由			

(注) 年齢及び教師経験年数は、令和 7 年 4 月 1 日現在

5 学校連絡先

所 在 地	〒
電 話 番 号	
メールアドレス	

提出先（公財）平和文化センター平和文化振興部平和学習課（fukyu@pcf.city.hiroshima.jp）

令和 7 年度「平和学習を考える教師の集い」開催事業参加希望調書（教育委員会用）

_____ 都・県 _____ 市・区 _____ 教育委員会

_____ 所属責任者名（役職・氏名） _____

1 所管する中学校の概要（R7.5.1 現在）

区分	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	合計
学 校 数	—	—	—	
学 級 数				
生 徒 数				

2 平和学習に関する教育委員会としての取組・課題等

--

3 本研修で得た成果の教育委員会または学校現場への活用見込み

--

4 参加希望者（指導主事等）

ふりがな 氏 名			
役 職			
年 齢	歳	教育関係職経験年数	年
参 加 希 望 研 修 会	① 8 月 ② 1 2 月 (← 参加希望開催月に○を記入)		
当 該 職 員 を 推 薦 す る 理 由			

(注) 年齢及び教育関係職経験年数は、令和 7 年 4 月 1 日現在

5 連絡先

所 在 地	〒
電 話 番 号	
メールアドレス	

提出先（公財）平和文化センター平和文化振興部平和学習課（fukyu@pcf.city.hiroshima.jp）